

移動等円滑化取組計画書

令和元年 12 月 20 日

広島市中区基町 6 番 27 号
株式会社広島バスセンター
代表取締役社長 荒本 徹哉

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第 9 条の 4 の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

<p>(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項</p> <p>当社が管理するバスターミナルは、移動等円滑化基準に適合しているが、今後、高齢者等の利用者の増加が見込まれることから、バリアフリー化の向上を目指す。具体的には、視覚障害者誘導ブロックの補修・改修や老朽化した多目的トイレの機能向上を図るための改修を行う。</p>
<p>(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項</p> <p>① 職員の定期的な巡回による利用者への声かけやターミナル内に開設している事務所及び総合案内所において、運行・施設情報提供、案内及び車椅子の貸し出し・補助など人的な支援の充実を図る。</p> <p>② 全職員が高齢者、障害者等の方々に声かけ、誘導案内等の人的支援ができるよう、講習等を定期的実施する。</p>

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
視覚障害者誘導用ブロック	施設してある通路の視覚障害者誘導ブロックの定期的点検により改修等を行う。(通年)
多目的トイレ	老朽化した多目的トイレの機能向上等の改修を行う。(2019 年度)
ホーム案内表示器によるリアルタイムな情報等の提供	全出発ホーム上部に視認性の高い 42 インチの大型表示器を設置し、行き先・時刻、運行情報等を提供 (2019 年度)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
職員等による障害者支援の案内及び介助・誘導	職員への講習（研修）を実施し、適切な介助・誘導に努める。（2019年度～）

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
施設内サイン及びHPの充実	高齢者、障害者等が必要となるサインやHPによる情報の充実を図る。（2019年度～）

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
接遇に関する講習の実施	職員に対して、国土交通省作成の「接遇研修モデルプログラム」（バス編）等を活用し講習を行う。（2019年度～）

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・当ビル内施設と案内サイン等の表示を統一する。 ・HPや電話で寄せられる利用者の意見を社内で共有するとともに、ターミナルに乗り入れるバス事業者とも共有し、取組の改善に活用する。 ・乗入バス事業者との定期的な会議の場を通じて、課題・改善点の意見交換等を行う。 ・社内の他部署とも連携し、全社的な推進体制を構築する。

Ⅳ 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等の対策	変 更 内 容	理 由

V その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置づけ等について記入すること。